



大規模災害に対して、どのように向き合うか

コーディネータ
パネリスト

土砂災害研究部長

下水道研究部下水道研究室長

河川研究部長

土砂災害研究部深層崩壊対策研究官

建築研究部長

海洋沿岸・防災研究部津波・高潮災害研究官

山口 真司

岩崎 宏和

天野 邦彦

桜井 亘

福山 洋

熊谷兼太郎

近年の大規模災害

平成28年熊本地震



平成30年7月豪雨



国土地理院提供

平成30年北海道胆振東部地震

平成29年九州北部豪雨



国総研 研究方針 H29.11.1改定

基本姿勢

○研究活動で培った高度で総合的な技術力を 実務の現場に還元する

- ・ 現場の実情を踏まえた解決策を提示し、
災害時等の高度な緊急対応も機動的に支援する
- ・ 個々の対応事例を蓄積、一般化して広く提供する
とともに、教訓を研究に反映する



パネルディスカッションの流れ

1. 発災直後から研究者を派遣し、
二次災害防止や応急対策に関する現場の対応
2. 原因の究明、復旧・復興計画の検討、
対策の実施について技術的に助言
3. 災害等から得られる知見・教訓を蓄積し、
防災・減災対策の高度化研究に反映



- 1. 発災直後から研究者を派遣し、
二次災害防止や応急対策に関する
現場の対応**



2. 原因の究明、復旧・復興計画の検討、 対策の実施について技術的に助言



**3. 災害等から得られる知見・教訓を蓄積し、
防災・減災対策の高度化研究に反映**